

# 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ きしょうさいがい 気象災害とカーボンハーフ

## えい きょう 気候変動の影響によるきしょうさいがい 気象災害



2019年 台風19号で堤防が決壊した越辺川(埼玉県)



2019年 台風19号で大増水した荒川(東京都)

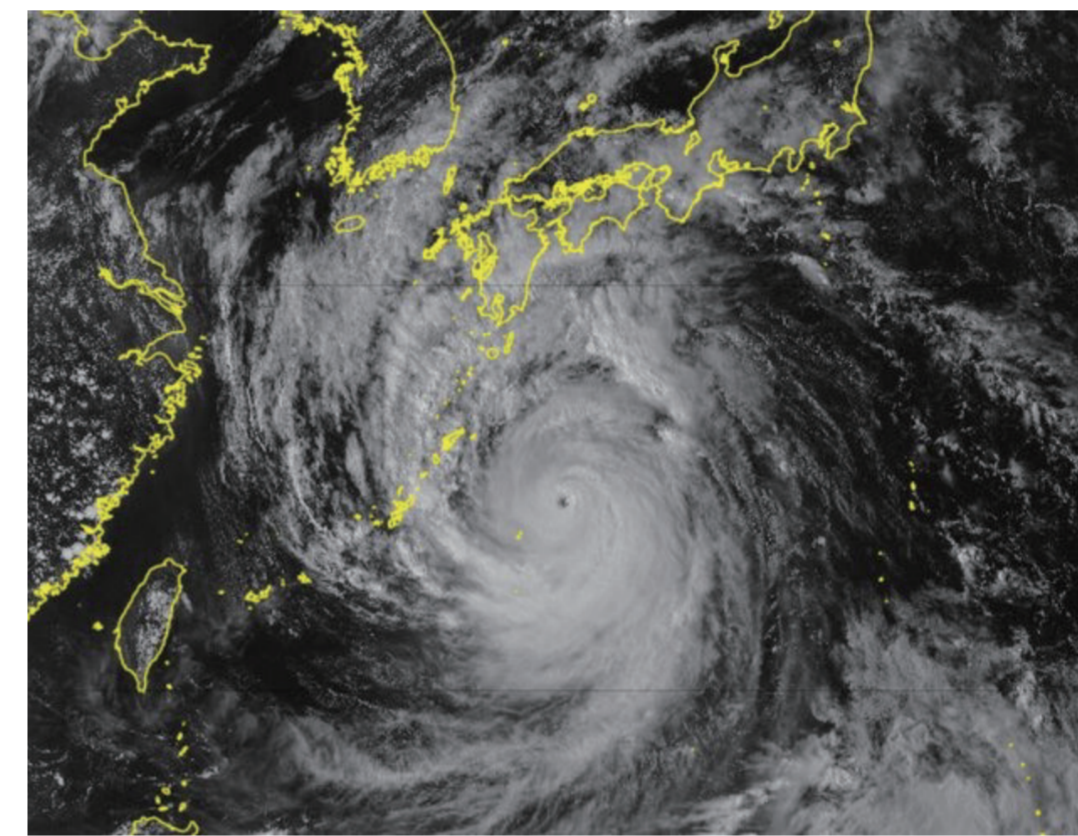


2013年 台風26号で土石流が発生した大島(東京都)

気候変動などによるひ害の数は、2021年8月のWMO(世界気象機関:国連の専門機関)の報告によると、直近50年間で5倍となっています。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、2021年8月公表の報告書において、「人間の影響が大気、海洋および陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない」と断定しています。

## おん だん 地球温暖化による日本の未来の気候は…

- 気象庁によると、21世紀末の日本の気候は、20世紀末と比べて以下になると予想されています。
  - ・ 滝のように降る雨(1時間降水量50mm以上の短時間強雨)の発生回数は、全国平均で2倍以上となります。雨の降らない日数は全国的に増加します。
- 海面水温が高い海域で台風が発達しやすいといわれています。地球温暖化の進行に伴い、台風など熱帯低気圧の強さが増す可能性が指摘されています。
  - 2022年に発生した台風第14号は、非常に強い台風(風速44m～54m)で日本列島に上陸しました。



2022年9月17日 台風第14号(衛星画像)  
出典:気象庁ホームページ「台風第14号の今後の見通しについて」  
(https://www.jma.go.jp/jma/press/2209/17a/kaisetsu.pdf)より抜粋



調べてみよう

地球温暖化による気候の変化について調べてみよう。



【気象庁 地球温暖化】 ▼クリック

[https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki\\_ondanka/](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/)

## カーボンハーフの取り組みで、気候変動を抑える

「カーボンハーフ」に向けた取り組みにより温室効果ガスのはい出を減らすことで、地球温暖化の進行をおさえることができます。このことが、地球温暖化による気候変動の進行をおさえることにつながります。

### 考えてみよう

気候変動による気象災害を減らすために、社会全体でどのような取り組みが必要か考えましょう

クイズを通して楽しく学ぼう!



【環境学習動画】みんなで進めよう! HTT 第1回

H【へらす】編【東京都環境局】 ▼クリック

<https://tokyodouga.jp/wgx3yowda6i.html>



「脱炭素社会」について、どれくらい知られているのかな?

社会全体で取り組むためには、どうすればいいかな?

